

BOMBER マフラー（政府認証品）取扱説明書

製品番号 04-02-0227

適応車種及び フレーム番号	スーパーカブ 110 スーパーカブ 110 プロ	型式 : EBJ-JA07 (JA07-1000001 ~) 型式 : EBJ-JA07 (JA07-3000001 ~)
------------------	-----------------------------	--

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

このマフラーはキャタライザーを内蔵し、平成 19 年排出ガス規制及び平成 22 年加速騒音認証制度を取得している為、一般公道でご使用頂けます。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎このマフラーは JA07 型のスーパーカブ 110 専用となります。JA10 型スーパーカブ 110 には使用出来ません。

◎スーパーカブ 110 プロに取り付ける場合、スタンドストッパーが無くなり、メインスタンドとマフラーが干渉します。

スーパーカブ 110 プロでご使用される場合は、別途センタースタンドストッパー：04-00-0030 をご購入して頂くか、センタースタンドを取り外す必要があります。ご注意ください。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎製品を加工等された場合、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎このマフラーはノーマル車両（メーカー出荷状態）で加速騒音認証制度を取得しております。

エンジンパーツ及び駆動系の変更車両等の法規適合証明の出来ない車両に取り付け一般公道は走行出来ません。

～特 徴～

○あらゆるユースで使い易い様、低速から高速域までストレスの無い特性に味付けしております。

○エキゾーストパイプ部は、メンテナンス性に優れたステンレス製でアルミサイレンサーパイプには、耐食性に優れたアルマイト処理を行っております。

○タンデム走行時でもパッセンジャーの足とマフラーとの干渉を防ぐプロテクターを標準装備しております。

近接排気騒音：81dB (A)

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

（法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）

■このマフラーは、進行方向に向かって右側から立ち上がっています。エンジン回転中は不用意に足などをマフラー方向に近づけない様心掛けて下さい。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

■マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時（マフラーが冷えている時）に行ってください。（マフラーのヒビ割れの原因となります。）

■車両を駐停車させる場合は、歩行者等がマフラーに接触しない様、駐車を心掛けて下さい。

（歩行者等がマフラーに接触し火傷又は物的損害を被る可能性があり、又、車イスの人が通れなくなる場合があります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いことを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

■加速走行騒音認証制度は、車両がメーカー出荷時の状態で認証を取得しております。エンジンパーツ交換及び改造している車両又は、適応外車両に取り付け一般公道で使用しないで下さい。（法規適合証明の出来ない車両に取り付けた場合、違法マフラーとみなされ、運転者が罰せられます。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

■エンジン回転中は、マフラー出口を絶対のぞかないで下さい。（一酸化炭素中毒、失明等になる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■走行前に、必ずバンク角のチェックを行い、そのバンク角以上にバンクさせない様な、走行を心掛けて下さい。（転倒につながる恐れがあります。）

■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、近くに危険物、燃えやすい物を絶対置かないで下さい。（火災につながる恐れがあります。）

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、純正サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。

（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

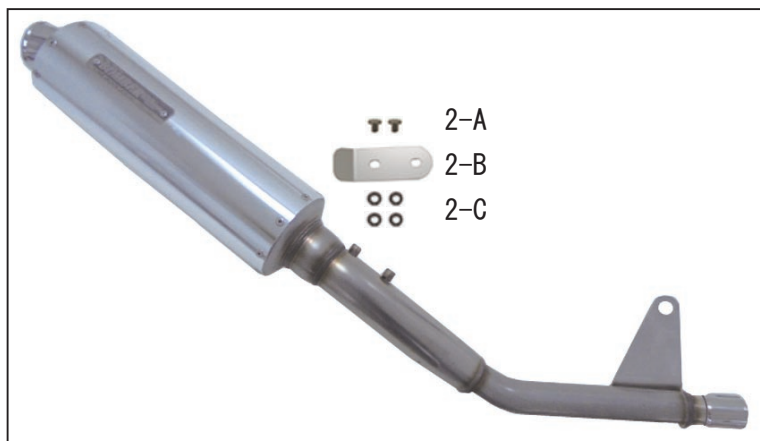
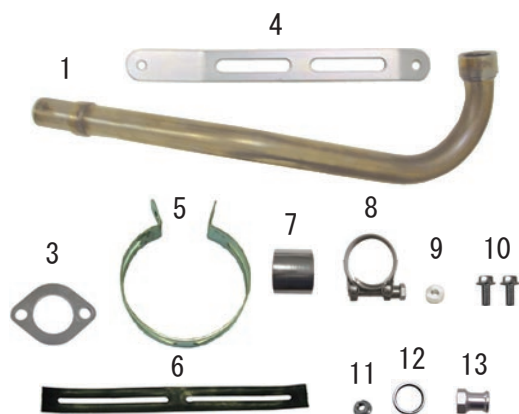
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857



番号	部 品 名	数量	リペア品番
1	パイプ COMP.	1	18320-KZV-T02
2	マフラー ASSY.	1	
3	エキゾーストパイプフランジ	1	18352-KPH-T01
4	サイレンサーステー	1	91130-KWB-T00
5	クランプバンド 90mm	1	00-04-0005 (バンドラバー付)
6	バンドラバー	1	91141-SDB-T01
7	マフラーパッキン	1	00-04-0102
8	バンド (32-35mm)	1	18373-LXD-T00
9	カラー 1	1	50705-KRL-T00
10	フランジ 6 角ボルト 8x20	2	00-00-0211 (4 ケ入り)
11	フランジナット 8mm	1	00-00-0141 (5 ケ入り)
12	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0107 (2 ケ入り)
13	ピボットナット	1	00-04-0004
2-A	バインドネジ 6x10	2	00-00-0265 (4 ケ入り)
2-B	ヒールガード	1	18424-KWB-T00
2-C	プロテクターガスケット	4	04-00-026 (4 ケ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ
様お願い致します。

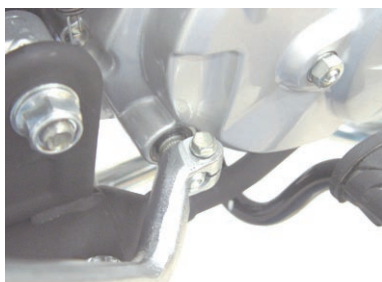
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

ノーマルマフラー取り外し

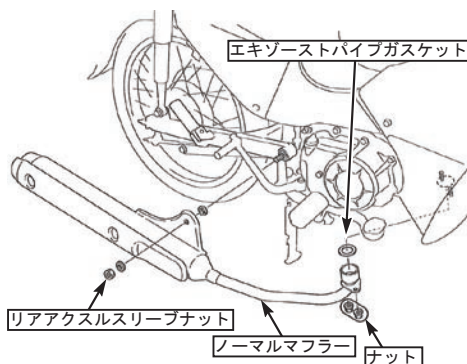
1. 水平な場所で車両をしっかりと安定させます。
2. 作業に適した工具を用意します。

⚠ 警告：必ず水平な場所で車両を安定させる事。
⚠ 注意：必ず冷間時であることを確認する事。

3. キックスターターアームのボルトを外し、キックスターターアームを取り外します。



4. エキゾーストパイプ部のフランジナット 2 個及びリアアクスルスリーブナットを外し、ノーマルマフラーを取り外します。



5. 右側リアショック上部ピボットナットを取り外し、キット内のピボットナットを取り付け、規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ピボットナット
トルク：24N・m (2.4kgf・m)



6. エキゾーストポート部の古いエキゾーストパイプガasketを外し、キット内の新品のエキゾーストパイプガasketを取り付けます。



☆スーパーカブ 110 プロの場合

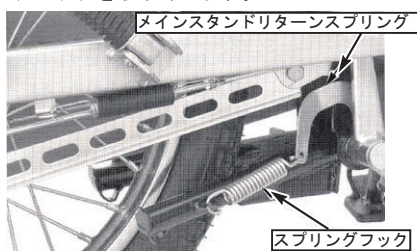
(スーパーカブ 110 プロの場合、ノーマルマフラーにセンタースタンドのクッションゴムが取り付けられています。ノーマルマフラーを取り外すことにより、センタースタンドのストッパーが無くなり、BOMBER マフラーと干渉するようになる為、別途オプションのスタンドストッパーを取り付けるか、センタースタンドを取り外す必要があります。)

対応 1

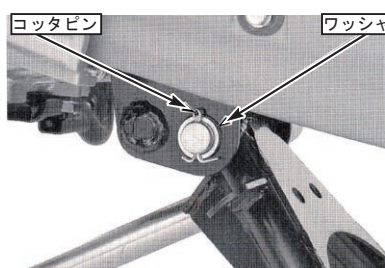
○ 04-00-0030: センタースタンドストッパーの取り付け要領に従いセンタースタンドストッパーを取り付けます。

対応 2(センタースタンドを取り外す。)

○メインスタンドリターンズpring、スプリングフックを取り外します。



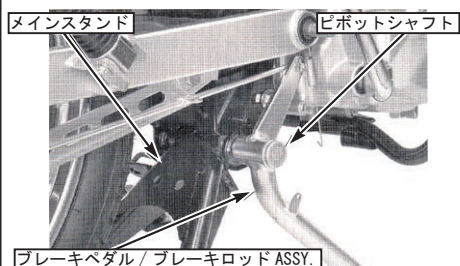
○コッタピン、ワッシャを取り外します。



○ピボットシャフトを抜き取り、ブレーキペダル/ブレーキロッド ASSY.、メインスタンドを取り外し、再度ピボットシャフトを取り付け、ワッシャ、新品のコッタピンを取り付けます。

☆コッタピン

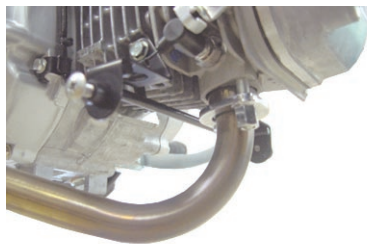
純正品 : 94201-2150



マフラー取り付け

1. パイプ COMP. をシリンダーヘッドエキゾーストポートに差し込みキット内のエキゾーストパイプフランジを使用し、ノーマルのフランジナット 2 個を用いて取り付け、仮締めします。

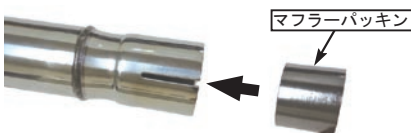
※エキゾーストスタッドボルトに焼き付き防止剤の塗布をお勧めします。
弊社製アルミスベシャル 品番 : 00-01-0001



2. 右側リアショック部のピボットナットにキット内のカラー、サイレンサーステーをフランジ 6 角ボルト 8x20 を用いて取り付け仮締めします。



3. マフラー ASSY. ジョイント部に、キット内のマフラーパッキンを差し込みます。



4. マフラー ASSY. ジョイント部に、キット内のバンド (32-35mm) を取り付け仮締めします。



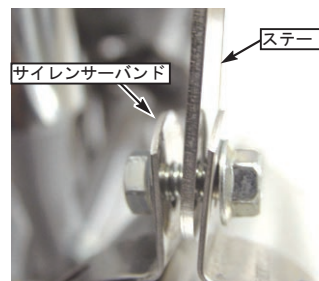
5. マフラー ASSY. ジョイント部のパッキンがパイプ COMP. ストッパー部に当たるまで差し込み、マフラー ASSY. ステー部をリアアクスルシャフトに、カラー、ピボットサイドプレート、マフラーステー、ワッシャ、リアアクスルスリーブナットの順で取り付け仮締めします。

※バンドネジ部に焼き付き防止剤の塗布をお勧めします。
弊社製アルミスベシャル 品番 : 00-01-0001
※マフラージョイント部に耐熱ガasketの塗布をお勧めします。

スリーブバンド 1207B 相当品
ロックタイト 5699 相当品



6. クランプバンド 90mm にバンドラバーを取り付け、マフラー ASSY. サイレンサー部に、クランプバンド 90mm を通し、サイレンサーステーにフランジ 6 角ボルト 8x20、フランジナットを用いて取り付けます。



7. キックスターアームを取り付け、ノーマルの 6mm ボルトを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
6mm ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



8. シリンダーヘッドエキゾーストポート部のフランジナットを規定トルクまで均等に締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジナット
トルク：27N・m (2.8kgf・m)



9. マフラー ASSY. ステータ部のアクスルナットを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
アクスルナット
トルク：59N・m (6.0kgf・m)



10. サイレンサーステー上部のフランジ 6 角ボルトを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジ 6 角ボルト
トルク：24.5N・m (2.5kgf・m)



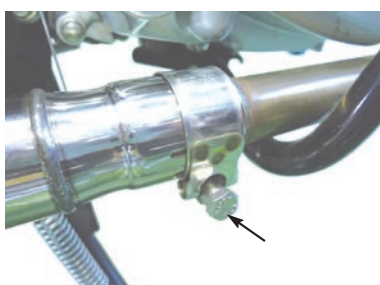
11. サイレンサーバンド部のフランジ 6 角ボルトを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジ 6 角ボルト
トルク：24.5N・m (2.5kgf・m)



12. ジョイント部のバンド (32-35mm) を規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
バンド
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



13. サイレンサー部のネームプレート及び認証プレートの保護フィルムを剥します。



14. マフラーに付着した汚れをよく拭き取ります。
15. エンジンを始動させ、排気漏れの有無を確認します。

⚠ 警告：必ず換気のよい場所で行う事。

16. エンジンを停止させ、各部を再度規定トルクにて増し締めします。

⚠ 注意：必ず冷間時に行う事。
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。